



めざす児童像：夢や希望を追い求め、失敗も学びにかえる子

☆☆おじゃましてました、地域訪問！☆☆

すごいんです。びっくりしました。

あんなに遠くから登校しているんですね。えらいな～と思って…。

地域訪問2日目、職員室に戻ってきた先生方が口々に声に出します。

少し前までは、どこの学校でもこの時期の定番は家庭訪問。クラスの子も達の顔と名前が一致して、授業参観で保護者にも対面し、次はどこに住んでいるのか…。授業は半日で地域を巡りながら、ちよっとのんびり気分で地域散策に出かけたものです。

石小では、ここしばらく家庭訪問や地域の訪問をしてきませんでした。学区が遠く回り切れないことや感染症の影響もあり、様々な人たちと接触することも控えてきました。

着任して数年経過している先生方でも、地域を詳しくは知らない現状に先生方自身も危機意識を持っていました。そこで、今年はしばらく遠ざかっていた地域訪問を再開しました。期間は3日間ですので、かつてのように時間を割くことはできません。初日は中谷方面、2日目は山形と南山形方面…という具合で、なかなかタイトなスケジュールです。

あそこが〇〇君の家だよ。

この先がスクールバスのバス停の一番端っこ。

〇〇さんは、このバス停までは歩いてくるんだって言ってたな。

車を降りてじっくり見まわす時間はありませんので、地元詳しい案内役の先生が車の中から指をさして説明します。後ろの席には地図を右に左に傾けては急いで位置を確認する先生方。

職員室では地域訪問から帰ってきた先生方が数名、前の方に群がっています。近づいてみると教頭先生がホワイトボードに地図を描いて先生方にレクチャー。どうやら確認してきたクラスの子も達の家が違っていらしいのです。もう一度訪問する訳にはいかないのですが、写真があるわけではないので要領を得ませんが、雰囲気はとても和やかです。先日は、スクールバスのそれぞれに先生方が便乗し、バス停の確認もしましたが、学区が広いのでなかなか大変です。一件一件の確認は無理でも、土地勘を持つことはできました。

PTA総会でも話題としましたが、石小では今年度の重点目標のサブテーマを「創立10周年を迎え、地域と共に新たな一歩を！」と掲げています。その初めの一歩を、スタッフ全員が地域を知ることからスタートさせました。子ども達が生活する地域を知ること自体が、子どもと向き合う時間と繋がりが、今後の教育活動に大いに役立つものと考えています。きっと、

先生ね、昨日〇〇さんの近くまで行ったよ、近くに〇〇があるんだね。

あの道を真っ直ぐ行ったらどこに繋がるの？

なんていう、楽しい会話が教室で交わされているかもしれません。

明日からのゴールデンウィーク、遠出もいいですが地域探検なんていうのはどうでしょう！？ご家族でいかがですか？

☆連休中の緊急連絡（事件や事故等）は校長酒井の携帯まで！

080-XXXX-XXXX（非通知は対応できません）